

# 勝浦市市民会議

## 第2回会議記録

日 時 平成23年11月18日（金）13時30分～15時30分  
場 所 勝浦市役所 4階402・403会議室  
出席者 委員24名（1名欠席）  
関係職員3名（農林水産課、観光商工課、都市建設課）  
事務局3名（企画課）  
進 行 事務局  
配付資料 別添

### 会議の概要

座長のあいさつから始まり、討議に先立ち、前回所用により欠席された委員の紹介及び前回での意見等について報告がありました。

最後に、次回の市民会議開催日を決定しました。

### 主な意見等

#### ◎元市民会館跡地の活用について

##### ○委員

市民会館跡地については、今の状況ではまずいので、とりあえず駐車場として使えるよう市の方も12月議会に出すということなので、それは当面はいいと思います。

勝浦の将来構想との関係で、跡地については駐車場プラスアルファというようなかたちで、近い将来については市としても出していかなきゃいけないんじゃないか。

それからもう1つ言いますと、市民会館があそこに当初建てるっていうこと、それがだめになって市営の野球場となったんですけれど、この前も出てましたけれど、やはり上に来るのが大変だと、何らかのかたちで、市としても別に公共施設建てて、津波の時の避難所にするとか、そういうことも考えられるのではないかってことと、併せて、ビッグひな祭りが、勝浦では大きなイベントとしては、一番人が多く集まって来ます。

今まで、主会場として市民会館をずっと使ってたんですけれど、去年から使えなくなったので、そのへんをどこにするかとか、そういう問題も出てくるので、そうしたイベントとか多目的ホールみたいな何らかのかたちで、将来的には造っていかなければいけないのではないか、そういうふうに思っています。

##### ○委員

前回からいろいろとお話を聞かせていただきまして、元の跡地の利用は、とりあえず駐車場ということで、それは構わないと思います。

## ○委員

市民会館の跡地の問題で、先ほど意見が出たんですけれども、私もいろいろな人にどうしたらいいかという話を実際聞きました。

今のあのブルーシートではみっともないという話は、誰もがするんですけれども、関係の無い人、街中のサラリーマンとかは、駐車場なんかいらねえだろうと、今の駐車場は40台停まるよと、土日は満タンだけど、平日はいつも空いてんじゃないかと、それを、あれだけの大きい10倍位大きいところに駐車場造ったって、イベントの時以外は、がらがらですよっていう意見が強いです。

じゃあ何したらいいんだったら、何したいんだったって、わかんねよと、そういう意見なんですけれど。

結局、駐車場になると、かなり金がかかる。計画も無しに、駐車場にして、そのあと、この何をするっていう時になると、また金がかかる。

少くくらい時間がかかっても、本当に真剣になって考えたほうが良いかなと思ってます。

## ○委員

関連ですけれども、私も、ちょうど、今日の会議来る前にちょっと見てきたんですけれども、今の駐車場のスペースに車が停まっているのが7割です。

## ◎まちづくりについて

### ○委員

今日の資料に農業と漁業の勝浦の基幹産業に関わっている人の数が、大変な状況にある。

また、年齢構成見ても勝浦というのは、高齢化率が高いという状況になっているので、例えば、福祉のまちにするとか、観光だとか基幹産業をもっと発展させる、あるいは、観光や福祉とか、そういうことを中心としたこのまちづくりとか、そういうことをきちんと市として、将来的な勝浦の構想としてしっかり立てて欲しいなというふうには思っています。

### ○委員

いつも言うんですけれども、勝浦は自然が豊富で、とても良いところなんですけれども、前回いただいた資料見ますと、やはり人口減っている、それから高齢化、いろいろ問題出ております。

もちろん、このままだと税収も減っていくってことになりますと、やはり市民サービスに対しても非常に停滞していくという、このままいくと悪循環になりそうな気がしますので、人口を増やす税収を増やす。で、いろんな業界さんが潤うといった、全体的に皆さんが潤うような企画ということを役所の方も考えていただきたいと思うんですけれども。

その中で、考えたことが、体験型長期滞在型民宿の提案なんですけれども、私、東京から参りまして、やはり私の周りの人間も、いい所だねと、来たいね、どの位お金

かかるの、付き合いはどうなの、食べ物は、税金はどうなの、いろいろな質問受けます。こうこうこうだよ、と教え、いいなあ、僕もいきたいな。やはり、東京の人たちというのは、こういう自然の豊富な、とてもこういういい場所は懂れていることは間違いないんです。

どの位いるかってことは、僕は良く判りませんが、ごみごみした東京のビルの間にいるよりも、やはりこういう所に住む方が人間としては、本当に良いと思います。ということをお考えますと、潜在意識を持っている人たちが、東京には何百万人、もしかしたらその位いるかもしれません。そういう方を、これだけ自然があるところに誘致していったらどうかっていうのが提案でございます。

来たいんだけど、家の事情、ご近所のお付き合い等々いろいろなことで躊躇している方は、沢山いらっしゃるんです。ですから、まずは、体験型長期滞在型ということで、3日とか1週間とか、もしかしたら1ヶ月とか、勝浦体験してみたらどうみたいな提案なんです。

里山の方へどんどん行きますと、やはり大きな農家さんが沢山あって、空いてそんな場所が、沢山あるような気がいたします。

そのへんは、いま言った農業関係の方も良くご存知だと思いますが、その1室を体験型、山菜取り、畑作り、田んぼ作り、何でも結構だと思います。都会の人は喜びます。それをやっていただいて、その代わり、民宿さんもお飯作らない、自分たちで作ってねと。で、買い物に出る。直売所で野菜を買う。もしかしたら、浜に出てきて魚を買うかもしれない。ということでみんなにお金を落としてもらって、民宿さんはただ泊めてあげるだけ。

あと、民宿のおじさん、おばさん、おじいちゃん、おばあちゃんが、自分の体験を教えるだけ。畑も自由に使って下さいというかたちで、都会の人たちが1週間ぐらいこう体験をして、で、もしかしたら、こんないい場所だったら、本当に自分の場所を探し始めるかもしれません。まず、第一歩のかたちとして、提案したいと思います。ということは観光業界も多少は潤うでしょうし、民宿の方々でも潤うでしょう。

それから、人口ももしかしたら増えるかもしれません。何人増えるかわかんないです。税収も、もしかしたら増えるかもしれません。

そこでいろいろなことを考えながら、会員制にしたりして、会員さんになれば物産を送るとか、そういうことをしながら、ふるさと納税が今どうなっているか勉強してませんが、ふるさと納税をきちんと勝浦市にやっていただければ、永住しなくてもいいんだよみたいな。

そのような幅広い提案を都会の人たちにやっていったらいいのではないかと思います。

そうしますと農業者も、それから漁業者もいろいろ潤うと思いますので、皆さんが、全体的に微力ですけども、少しずつ少しずつ潤っていく、人口も増えていく、それから納税も増えるというような、時間はかかるんですけどもじっくりと腰を据えた方法を提案したいと思います。

里山はすごくいいところなので、あのへんはもう絶対に使うべきだと思います。

## ○委員

朝市の件も含めて、歴史を振り返ってみますと、朝市というのは、在方と漁業の交流の場であったんです。

そこで情報とか、助け合いとかをやってきたわけですが、朝市もかなり数が減ってますよね。たぶん、私どもの仲間に出てるって方はほとんど稀有だと思うんです。

昔、我々は、“ぜいごっぴ”と言われてたんです。我々は逆に“はまっぴ”と、そういう確執も無くなって来ているんです。これは、防災の面でも、最後、結局は食べ物ですよ。やはり山の手の方と、今言ったようなシステム、朝市でも結構です、昔のやり取りがなくなってしまい経済行為だけでいってますから、昔に返ってそういうことも考えて貰いたいと思います。

それが、あの地震で考えなきゃいけないことだと思います。我々が提供できることも多いわけですから、大きな意味だとお互いの、市民全員の合意形成を作ったらどうかと思います。

我々は、はっきり言って、この前の関東大震災でも、要するに泥岩層ですから、ほとんど被害無かった。水道入ってませんけれども、地下水はありますし、そういう点でもライフラインは完全にできるんです。で、こちらの方に与えられるのは我々しかないと思ってるんです。

そういう面で、先ほど資料に農業の人口とかでてますけれども、かなり厳しい部分もあります。今回はこちらの方の協議ですけれども、前回言ったとおり、農村地域の協議もしていただきたいというのが、本音ですので、よろしくお願ひしたい。

## ○委員

先ほどいわれたとおり、都会の方がここで農業をやりたい、で、それなりに来るわけです。年間に多くの方が来ますが、残った方は1人か2人です。なぜかという、農地法という嫌な法律があるんです。

今、農家やるのには、勝浦市で5反歩買ってそれでも農業やられるって方いないです。それを、市の方で、勝浦市型農地法というか、規制緩和でやっていただければ、農、商とか勉強になるんじゃないですか。

よく言われるのが、猪とか鹿の駆除をそんなに毎日やってるけれども、それは、使いたい人がいるんだけど、使わせないに等しいんです。

一応、農地の場合は、貸し借りの場合でもきちんと契約しなきゃいけないんです。例えば、自分は農家ですから、田んぼ借りて、名目上は自分が作ってるけれど、そういう方に作ってもらうことはできます。それはできますけれども、なかなかそこまでやってあげる程、農家って余裕ないです。

ここに、農家人口がありますけれども、これはあくまで表向きの数字で、こんなに専業農家いないと私ども認識してます。これは、ある程度線引きをした中での専業農家とか、1種兼とかいますけれども、専業農家で機械1千万かけて、ちゃんとにペイできる農家が、我々は専業農家だと思うんですけれども、そういった方というのは、この中のおそらく10人か15人じゃないですか。

そして、若い30台前後の私どもの知っている中では、おそらく10人いればいい

ほうです。これは、あくまで表向きの数字ですから。

そうしますと、話し長くなりますけれども、国民1人、今、1俵食べるんだそうです。そうすると勝浦市民が2万人じゃないですか、2万俵の米を勝浦市で作ってるかっていうと疑問です。これから先、無理ですよ。

農地法については、なんとかクリアしていきたいなと思いますし、提言していただきたいと思います。それであれば我々も、残っている数少ない専業農家ですけど、そういう都市部から来た方を教える立場になるんです。

そうすれば、我々も活路を見出せますし、そういう方が転入してくれば、当然こちらに買い物に来るわけですから、潤うんじゃないかと思います。

#### ○委員

今の話まったくそのとおりで、本当に農地法ってのはずいぶん悪法なんです。

というのは、かなり古い事ですし、今、都会の方がやはり農業やりたいと、中にはこっちに引っ越してきてもいいって人もいます。

ただ、今おっしゃったように、農地法が勝浦市の場合は、勝浦・興津地区は2反歩、ということは600坪です。で、上野・総野地区が5反歩、1500坪の土地を所有するか若しくは借りないと農業できないんです。で、土地を取得するのも、それだけ条件が揃わないと買えないんです。

だから、これをなんとかしないと、農業ただやりたいってことでは、一般的には、300坪位欲しいという方、結構いるんです。150坪でもいいよとか。そういう方もいますし。農地を半分やって、半分家を建ててっていうと、やはり2、300坪欲しいという、今の農地法の県の指導ですと、150坪位は農地転用ということで、大体認めてくれるんです。ところが、150坪以上になると、なかなかうんと言ってくれないんです。こっちを畑にして、残りで家を造るんだ、という話をして、農地自体がそこへひっかかっちゃってる。

だから、そういう問題が今おっしゃったようにありますので、市でもってその特区なり作れば、そういうことを改善できるのではないかと。

先ほどから出ている人口の減少ですが、これをどっかで歯止めをかけないと、いろいろな議論をしても、すべてが人口に、私は、かかってくると思うのです。人がいないところ、子どもがいないところへ公園作ったって意味ないです。

だから、大元はやはり人口だと思うので、そこをなんとか、これは増やせというのは非常に難しく、一朝一夕にはいきませんが、なんとか止めて、できれば増やしていく。

別の話になりますけれども、若い人たちに援助してやるとか、家を造るときに補助金出すとか、そういったいろいろな方法考えられると思うので、あらゆる手を考えて、やはり人口をなんとか維持していく、なんとか増やす方法を考えるのが、一番大事なことだと思います。

#### ○委員

NPO団体等において、市が農地を農家から借り受けて、それをそこでまた貸し出す方法があるのでは。

## ○委員

人口を増やそうとか、そういうことになってくると、やはり自分の所有地が欲しいんですよ。お金いくらでもいいんですから。

だから、そういう面を、やはり考えて、ただ趣味でやる程度だったら、市民農園でいいんですよ。朝市にでも今度出してみようかなとか、となってくると、だんだん規模も増えてきて、いわゆる農家じゃないと取得できない。

というふうなことになってしまうので、そのへんをなんとかできる方向を結ぶような。

## ○委員

市はイベントだとかやる場合になると、勝浦のあの港を中心としたあのへんでなにかやるといふか、そこが考え方の中心になってしまうんです。

勝浦の場合は農業・漁業が基幹産業だと先ほども言われてますので、私も、知り合いや親戚が在の方にいるので、1週間に3、4回は車で行ったりしてます。

一生懸命努力してやってるところもあるし、それから、例えば農産物なんかにしても、今、味彩館とかふれあいだとかそれからはなさきとか、3箇所位かな、農産物の直販売みたいなのがやってますけれど、市として、そういう農業といふか、在の方に人が行き交うことも考えた、これからの市の行政をやって欲しいと思います。

今年は、コスモスフェスタが雨で中止になってしまいましたけれど、あそこ、それから、例えば、みずほまつり、物凄く、みずほなんか行くと古新田や大森の農家の方達がいっぱい集まってきて、なかなかああいう交流の場所というのはありませんから、楽しそうにみんなやってるんです。

だから、市としても、もっと農家の人たちが一杯集まるような交流の場とか、そういうやつを考えてこれからやっていって欲しいと思います。

もう一つ希望するのは、私は、15人位で毎年、味噌を作ってるんですが、勝浦に、残念ながら作る場所が無いんです。もちろん自分の自宅でやってる人も結構いますけれど、私なんか、大多喜行って味噌作ってるんですよ、総元の味の研修館で、町がやっているんです。指導員の人にやりかたを教わったりして、15人位のグループで毎年味噌を作ってるんですけど、そこでは、漬物とか缶詰だとか、農家の方達が来て、そういう道具といふか、機械がありますからやっているんです。

勝浦でも、そういう味の研修館的なものを在の方に造って欲しいと思っています。

## ○委員

観光客をこちらに寄せる手法として、B-1グランプリで勝浦タンタンメン7位っていうことで、がんばっていただいたと、そうすると現実的にマスコミで報道されて、少なくとも今週週末はやはり多いと思うんです。勝浦行ってタンタンメン食ってみようかっていうような感じで。

ですから、そういうマスコミの活用法っていうのは、例えば、商工会なり、観光商工課なり、やってるんでしょうけれども、やはりそういうものを強力に進めていくことが、観光客を呼び寄せる一つの大きな題材になるのかなっていうような気がします。

それともう1点、少子高齢化の話なんですけれども、私も30前後の子どもが2人

いるんですけれども、やはり、地元に住めない。我々ここに同居できないっていう条件の一つが、やはり、勤めなんです。どうしても、仕事が無い。あの、決して無いわけではないんです。選り好みしてるからかも知れないんですけれども、自分にやろうとする仕事がなかなか地元で見つからない。是非、これから勤めというものを考えたときに、長い目で見ると、年とってからは帰ってくるよなんていうようなレベルなんです。どうしても、20代、30代、40代の働き盛りの時に勤めるような仕事が見つからないという現状ではないかと思えます。決して、勝浦が嫌で家を出て行くとかっていう事じゃ子ども達もないはずなんです。

ですから、先ほど来、いろいろなこの観光なり、環境的な部分で、魅力あるまちづくりについて提言、皆さんされているんですけれども、仕事について、なかなか難しいんですけれども、是非、考えて欲しいと思えます。

#### ○委員

今、勤めるところがないって話が出たんですが、次世代の子ども達の教育も、昨日、今日の新聞を見てますと、勝浦若潮高校が岬高校、大原高校と合併されて、校舎を大原に持って行かれてしまうというような話が出ております。

せっかく特色のある勝浦若潮高校で、水産科があったり、なかなかこのへんに無いような学校ですので、是非、勝浦の地に残してもらいたい。

生徒に聞きましたら、全体で200人位しかいないということなんです。例えば、漁業のクラス1つ、農業の専門のクラスを1つとって、そういうふうな特色のある学校を作って、そういう子ども達が、また、勝浦で農業をやったり、漁業をやったりというのを、支援していくようなシステムを、市の方で作っていただいて、是非とも勝浦若潮高校を残していただきたいなと思えます。

#### ○事務局

この件に関しまして、明確にお答えはできませんが、市の姿勢とすれば、無くなっただけは困る学校だということで、そのへんの対応については、努力していくということで動いてはおります。

#### ◎朝市について

#### ○委員

これからの問題として、お聞きしたいんですけれども、朝市の今の出店数とそれから年齢構成とそれから市内の人がどのくらい出店しているか、数をできれば教えて欲しいし、本来ならば、朝市の将来について朝市の組合の方達が一番中心になって考えてるんだと思うんですけれども、僕なんか輪島や高山なんかにも行ってきましたけれど、規模的には小さいんですけれども、非常に勝浦の朝市というのは歴史があって、他所から来る人も朝市については、よく承知をしていると思うんですけれども、現状では水曜日が休みだとか、あるいは、今日みたいに雨が降るとか、それから、風が強いかってことになると年齢構成なんかも考えて、かなり出店数が少ないと、せっかくバスで来ても、たまたま水曜日で休みだった。

なんだ毎日やってないのかという声も聞かれたりとか、そういう現状なので、例えば、この朝市の人達が、あそこの漁民アパートの橋の所から市民会館の所迄の間、全部は暗渠にはできないと思うんですけれど、ある程度暗渠にして、雨が降ってもできるようなかたちにして、将来朝市を継ぐ人がいればいいんですけれど。

それで、それぞれ店舗をあそこに出していけば、雨が降っても、あるいは、物産市みたいなかたちでもできるだろうし、現状でやってたのでは朝市も終わってしまうような気がするので、そのところは、数等の関係もありますけれど、次回にでも数出して欲しいかなあと考えてます。

#### ○委員

私の知る範囲の中ですけれども、年齢の方は見たとおり、私もはっきりしたことはわかりませんが、かなり高齢化してきているように思います。

このところ退職した人やなんかが、何軒か出るようになってきてまして、ただ、土日だけに限ると結構申込みもあるんですけれども、あまり出店者が減って来ても困るので、土日1、2軒認めてはあるんですが、昨日も1軒勝浦の在住者なんですけれども、土日だけ出させてくれって言われたんですけれども、その人の為にそこをずーっと空けておくわけにはいきませんので、一応お断りした事情がございます。

常時出店の数からいきますと、普段ですと平日で30店位ですか、土日になってきて60店から70店位、年間通して休まずにやったらという意見もありますけれども、水曜日休店にしたのは、商店街との兼ね合いもありまして、別に朝市自体をやっても商店が休みでは商店そのものも大した影響も無いと思うんですけれども。

そんなわけで水曜日の休みということと、元日休みにしまして、それ以外は常時やっております。

また、この頃は大体昔とちがって、農家の出店も減って来ましたので、テントとか、そういった出店が多くなって来ましたが、風とか雨とかになると、テントもあおられたりして、かなり危険があります。

いま言ったアーケードのこともあるんですけれども、どこでもアーケードとなりますと、照明のこともありますし、なんか暗い感じがしまして、我々も朝市サミットとかであちこち見てはいるんですけれども、勝浦の朝市の様に、路上でシート敷いて販売している朝市というのは、そんなに大きな朝市ではありませんで、ほとんどがそういった公園を借りたり、市の駐車場を借りたりしたりしてやっているところが多くて、形態としてはむしろ朝市というよりは、マーケットに近い感じでございます、雰囲気は全然違っちゃいますね。

勝浦の場合、そういったアーケードの中でやってはいないんですけれども、雑誌やなんかの取材なんかで聞いてみますと、この雰囲気が良いと言ってくれてる人も居ります。確かに天候が悪いと減るのは、お客さんも来ないから減っちゃうんで、天候が悪くともお客さんが来れば、結構出す人はいるとは思いますが。

残念ながら、そういった設備は無いんですけれども、観光客の人も、本当に天候が悪ければ、観光船だって出したりなんかしなくても、また、機会があれば来てみようってことにもなりますので、雨が降って店が出ないのはやむを得ないことではないか



とも思っております。これもまた、1月、2月、あの寒風の吹き晒す中で、年寄りに出てくれと言っても、ちょっと無理な話ではないかなと思います。

そんなわけで、私は、現状でもそれほど問題は無いんじゃないかと思うんですけども、出てくれれば一番いいんですけども、とにかく、勝浦の朝市も、土日とか休日になりますと、結構、出店者も多いし、お客さんも多いので、出店者の状況から見ますと、普段でも、今、30店って言いましたけれども、多いときにはもうちょっと出たりすることもあります。

雨が降ってしまいますと、本当に2、3店舗しか出ないときもありますけれども、これはやむを得ない事ではないかなとは思いますが。そんなところで、私の知る範囲なんですけれども。

## ◎防災・防犯について

### ○委員

今、市でハザードマップを作っているということなんですが、避難場所の経路であるとか、避難場所であるとか、そこまでたどり着く道とか、そのマップを作っているということなんですが、現在ある、獣道のような所であっても、それをマップに載せるのか、現在ある道だけを載せるのか、それとも、今現在ある道に、少しその土地の方もいらっしゃるでしょうけれども、そこに階段を1つ付ければ、なお、逃げるのに有効であるってというようなプラスアルファの構想を持っての地図づくりであるのか、そういうことができるのか。

勝浦小学校から、あそこに津波が来た場合、勝浦幼稚園の裏から保育所の裏を通過して中学校へ上がって黒潮の方に逃げると、あその場所に限って話しますと、勝浦幼稚園の脇の細い道を、子どもが横に3人、4人行くには細くて無理なんです。

では、その位通れるからというので整備をする。そうすると、勝浦幼稚園からというあの道を整備するのと、例えば、価格的に全然そんなにかからない同じ位の価格で、勝浦幼稚園からまっすぐ勝浦中学校の坂の方に階段を1つ造る、費用がそんなにかからないのであれば、より安全に早く、道を1つ造る、そういう考えがあるのかどうかということを知りたいんですが。

### ○委員

もう一つよろしいですか。とりあえず道があるというところは、環境整備から言って、草ぼうぼうで、たぶんここにあるだろうと、そういう道ではなくて、ある程度そこも整備、いつもちゃんと通れるような整備も必要だと思うんです。

その環境整備で言えば、勝浦というのは国道であっても、草がすごく、カーブであって草がもう道路にかぶってる。その草をよけるのに、車がセンターラインを超えて対向車とすれすれで通る、そういうようなところが多々あります。

せめて、国道だけでも草刈等の整理等をして欲しいのですが、数年前までは、年3回県の方の予算でやっていただいたんですが、最近では、1回、それも草刈る距離というのが短くなっております。

そうすると、東京の方から来て、大多喜を抜けて勝浦に入ると、草ぼうぼうなんです。

せめて、国道でも、もうちょっと整備ができたらいいなと、そういう環境に対する、予算の関係もありますでしょうけれども、もう少しきれいに整備されてたらいいなと思います。

#### ○事務局

細かい話は、できないんですけど、ご指摘のように、現在ハザードマップを作成中でございます。私の聞いている限りにおきましては、3月11日の東日本大震災を踏まえまして、まず第一は緊急避難場所の整備ということで、例えば、避難路の整備、これにつきましては、今年度中ではないんですけども、来年度位で、現在、関係の区長さん方といろいろ協議をしているという話を聞いておりますので、まず、緊急避難路の整備につきまして、来年度予定はしております。

それと、ハザードマップですが、先ほど申しましたように、聞いている範囲では、とりあえず、緊急避難する場所の目安となる、海拔何メートル地点だとか、そういう表示はするということで聞いております。

ただし、細かい地形に応じた、また、いろいろな情報を駆使した中での、ハザードマップの整備まで、行っているかどうかまでは、お答えできませんけれども、担当の方には、話をしておきたいと思います。

#### ○委員

幼稚園から保育所、給食センターを抜けて中学へ抜ける道は、子どもでも1人しか通れません、横並びで、2人は無理です。2人並ぶと下へ落ちちゃう。そういう場所がいっぱいあるわけです。

でも、それを整備すれば駆け上がることができるという、そういうところまで、行政がかんでいくのか。区長さんがそういうことを提言して、そういう避難路を整備してくれるのか、という問題、非常に大事だと思います。

浜勝浦も、遠見岬神社へ浜勝浦の人が駆け上がる場合に、神社の裏側の川端地域の人たちも新屋敷という坂を上がって、その途中から遠見岬神社へ抜ける。昔の作場道みたいのがあるんだけど、現実には通れない状況になっている。そこを整備してもらえれば、あの一帯の人たちが近道で上がっていくことができる、そういう箇所が一杯あるんです。

だから、おぎなりのマップとか、あるいは避難路の作成ではなくて、地域住民が一番良く知ってますから、そういうことを一つ一つ検討して、それから、覚翁寺山きんに上がるところに忠霊塔が建っている、武道館の真裏になるんですけど、あの道も整備すれば、上まで上がっていくことができる。今は上がれないという状況。そんなこと各地域にあるわけですから、そういう点を大至急、行政が調査して、地域住民の方々と相談しながら、避難路その他の計画を立てて貰いたい。

もう一つは、例えば、部原とか新官とか沢倉とかその他、マンションも結構あるんです。では、そのマンションと既に行政が契約してるのかどうか。しかし、マンションだと部屋には入れませんから通路だけなんだけれども、あるいは屋上が開放される

かどうか別としても、いざというときに、避難して、今、マンションみんなオートロックですから、ロックされてて、まごまごしているうちに間に合わないということもあるわけで、そういう契約がなされているのか。あるいは、その上に立って、そのオートロックがすぐ開けられるようなシステム、あるいは管理人との連携が普段から取られているのかどうか。

そういうことも含めて、計画、避難計画と訓練が必要ではないかっていうふうに思います。

#### ○委員

今、流れているこの防災無線のスピーカーなんですけれども、私の住んでいる近くには、市民会館跡地の所にスピーカーがあるんですが、私、東京で仕事をしてまして、東京の時の友人が、東急のハーベストクラブ内のマンションを所有してまして、先日遊びに来たんですが、防災無線はこの辺にはついてると、聞いたら、防災無線のスピーカーなど一切無いと、で、インフォメーションが聞こえないよという話を聞いたんで、どこに設置してるか、よく散歩してるので、街中にはあるんですが、皆さんの住んでる周りで、ちゃんと設置されてて、しかも、マイクの、スピーカーの性能などわかりませんが、非常に何を言ってるかわからないですし、夜とかだと、雨戸を閉めてるとまったく聞こえなかったり、窓開けてても聞こえない、内容によっては、スピーカーを時間帯によって分けてるところがあるので、これがはたして、ちゃんと役に立っているのか、ここを改良する予定があるのか、というのをちょっと聞きたいのと、最近、商店に泥棒が入ってるらしいということで、夜、居ないところに金庫あさりに入って何十万盗まれたとか、近所の商店含め自動車工場、喫茶店いろいろなところがあるというところがあったり、防犯の対策もですね、より、今まではそんな話は無かったと思うんですけれど、非常に良い環境ではないのかな、というところがありまして、そこも含めて、より安全に住めるところと、今回の震災で一番役に立ったのが、私、いろいろ関わっていると、やりたいなと思っていたのが、コミュニティFMとか、地方の防災のFMが無いのが、勝浦、何故なのかなというのが、非常に思ってます、これは本当に、防災の面でもFMがあること、テレビ、放送局もちろん無いですし、中継局は、テレビの中継局が大沢に、テレビとラジオがあるので、勝浦は、一応助かるところはあると思うんですけれど、行政として、そういう防災を意識したコミュニティなどあったら、そこに参加してみたいなというのもありますし、いろいろ関わってる人間も知っているので、そのあたりの矛盾と、我々も何かできたらいいなと思ひ、それが、マスコミとのつながりにもなるでしょうし、この地で市をアピールすることができるかなあ、と思っております、意見をさせていただきました。

#### ○事務局

担当ではありませんので、明確にはお答えできないんですが、防災無線に関しましては、環境防災課の方におきまして、そのような話は聞いているということで承知しております。

今現在、勝浦市が用いておりますのが、アナログなので、平成29年位を目安にデ

デジタル移行を計画しております。

なお、防災FMについては、知識がありませんのでお答えできません。

○委員

泥棒については、1階が、例えば店舗とか、修理工場があったりとかして、2階に住んでても、その1階の事務所にお金があって盗まれるとか、あと、夜は居ないところに入られというケースがあるようです。

○委員

今のに関連なんですけれども、私、青色パトロールをやってまして、台数もだんだん増えてきまして、まめに回るようにしてるんですけど、今回みたいな事あっても、警察では教えてくれないんです。

○委員

地籍調査というのを今、国で推進しており、何かって言いますと、国と県で95%補助出してくれまして、地元は5%の負担で自分たちの、いわゆる自分の土地なりの境界、地境、こういったものをすべて、測量してくれるんです。

それで、これは何が大事かっていうと、東北で今回、地震があって、津波があって、あとで、もう見ても自分の地所がどこだかまったくわかんないと、この残ってるものは、登記簿とか公図とかで、まったく再現するのは物凄く難しいんです。

ということは、隣近所ともう、いわば地境でごちゃごちゃしている問題とかですね、そういった問題がなかなか決着がつかない。あとは、道路の買収をしようとしても、地所が決まってなくて、なかなか買えなくて、何十年もできない。

こういったいろいろな問題が、これをやることによって、ほぼ解決するんじゃないか、というこれは事業なんです。

それで、一番いいのは、先ほどもお話しました様に、地元の負担は5%です。だから1千万の仕事やって50万で用が足りると、あとは、国と県で補助してくれると、こういう事業で、これも何十年とかかるレベルの仕事なんです。で、既に着手している所は、さっき言ったように、もう終わってる所もあるんです。で、千葉県は、このデータ古いんですけれども十何%しかまだ終わってないです。

勝浦はまったく手がけてないと、というような状況なんですけれども。これは遠い将来、当然自分なんか死んじゃってる頃にしかできないと思いますけれども、やっておいて、いわゆる自分の財産が、何が無くなっても、データとして国なりに残っている、というものなんで、是非、これを近々にもう始めてもらいたいと思います。

ちょっと話が上手くなくて、判りづらかったかもしれませんが、要は自分の敷地を確保できる。隣との地境もきちんと測量士がやってくれるというふうに理解してもらえばいいと思います。

これは、是非、要望して、取り上げていただけたらと思います。

◎環境整備について

○委員

最近大原の駅にできたんですけれども、鴨川の駅だとかみんなエレベーターがあるんです。

今日もお年寄りの人が泊まったんですけれど、なんで、エレベーターとか、エスカレーターとか無いんだってというようなこと言われたんですけれど、そういうお客さん多いんです。よく議員さん選挙になるとエレベーターどうのとかって言うんですけれど、なんとかこう実現してもらいたいなって思います。

もう一つ、よくお客さん来ますと、車でぐるっと大体2、3時間かけて勝浦のいいとこどりして案内するんですけれど、まず、お万様の方からずーっと上がって、国民宿舎の跡地がありますが、与謝野晶子さんの“おお美しい勝浦”っていう碑があるんですけれど、そこをずーっと回っていきますと、もう昔の写真だとかなんか比べると、昔はもう本当に一面にこうばって上がりきると大体こう一望に見えるんですよ、湾がね。それがもう、所々しか見えないんです。

もう雑木がうっそうとしちゃって、かなり太くなっちゃって、じゃあこれ切ってやろうかなんかって、やはり行政の方から何センチ以上になると切ってはいけませんよとあって、いろいろなこと言われるんですけれど。やはり切った方がいいと思うんです。

大沢から小湊方面にかけてもうすごくいい景色なんですけれど、みんなもううっそうとしちゃって景色が見えないんです。

あと、理想郷もそうだし、官軍塚もそうなんです。そういうところをある程度チェックして、環境的にやっていくといいと思うんですけれど。

あと、絵描きさんだとかカメラ写す人が非常に少なくなっちゃってしまい、この間も話しましたけれど、いすみ鉄道に行ってるんですけれど、沿線にカメラマンだとか絵描きがすごくいるんです。

やはり、ああいうふうになってもらいたいなと思います。

#### ○事務局

エレベーターの関係ですが、一刻も早くエレベーターを設置して欲しいということで、JR東日本千葉支社の方に働きかけておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

#### ○委員

話がでました灯台行く方の木なんかして欲しいと、それから大沢、誕生寺行くところ物凄く景色がいいので、是非、よその方に景色の良さを見せて欲しいなと思います。

#### ○委員

私も、鵜原の理想郷のあの景色が好きで、たまに行くんですけれども、いつもがっかりするんです。

周りの整備というのが、そんなに箱物作って、手摺をして、階段を整備してってことではなくて、本当にもう雑木がうっそうとしてたり、草がぼうぼうと生えてたりっていうようなことで、行くたびにがっかりするというのが、現実にあるんで、せっかくここに来た人が、また来て見たいね、人を誘って来て見たいね、というような、最低限の条件を、そういう整備、環境整備というのを、やって欲しいと思います。

○委員

浜勝浦川、墨名川の河川のことなんですけれど、大分汚いんです。

ずーっと前の時、話があって、山口吉暉市長さんの頃に下水道の話が出たはずなんですけど、あの汚れから見るとほとんど下水ですね。

河川と言うよりは、あの浄化設備を、市民会館の跡地に持ってきて、その上を駐車場にするってことはできないですか。

○事務局

即答できないんですけれど、下水道につきましては、ご承知のとおり、莫大なお金がかかるので、都市計画税の問題であるとか、個人の使用料とか、そういったものも当然生まれてきます。

本市の環境的な問題は、既に十分承知はしておりますが、実施となると、勝浦市にそれだけの体力があるかどうかという面においては、なかなかきびしいという話は伺っております。

○委員

河川の上を塞いじゃうと、日が入らなくて、雑菌の繁殖が多くなるとかって、そういう話もありますので、もし、河川の上を塞いで、駐車場なり通路なりにする場合は、そういった浄化装置も必要じゃないかとも思うんですけれど。

○事務局

ご承知のように、河川は、本来、青空の下で、浄化作用が本来そこに備わって、蛇行することによる浄化作用を利用して、外に流れるというのが本来の姿であるんでしょうけれども。

近年は、災害対策とかで、例えば、コンクリートで固めてしまうとか、そういう手法もとってるってということもあると思うのですが、基本的には河川は、蓋をかけるというのは、これは本来の姿でないと思います。

○委員

下水道も、将来的には必要じゃないかなと思いますけれども、財政的には、無理だとは思いますが。

○委員

下水道事業は、市で、調査班を作って、何年か検討したんです。ただ、財政は上水道よりももっとかかるんです。

それと、オール勝浦ですから、そうするとその終末処理場を何箇所つくるのか、という、例えば、興津地区、鶉原地区、勝浦地区で終末処理場が必要になるし、その他もろもろを考えたときに、勝浦では力の及ぶとこでないということでもう休止しちゃったんですけれど。

だから、都市下水路、公共下水道は別なんですけれど、下水道事業とそれから1本の河川の浄化施設するのはまた別の問題ですから、それはそれで浜勝浦川の浄化を特別にそういうふうにしていくということについては、別にまったく不可能ではないと思います。

○委員

上流と下流のレベルの落差の問題とか、それから上流における水産業関係の処理問題とか、いろいろあって、なかなか難しいところなんですけれど。

じゃあ、その1企業に完全な処理、2次なり3次処理の出来る処理施設を造って商売やれったって、そんなことやる位なら、商売たたんじゃうよっていう現実問題、そんな莫大なお金投資するほどの仕事してる家が何軒もありませんから。

大原で、水産加工団地造ったれども、全く入り手がなくて、あんな莫大なお金かけて、大原港の隣に造ったけれども。

○委員

今の川の問題ですけれど、勝浦にいっぱい川ありますが、はっきり言わせていただくとあそこだけいけないんです。

よそはそれなりに、河川の住民が昔みたいに家庭のゴミを絶対出さない。なるべく排水もきれいに流す。各家庭で合併浄化槽を備え付けて排水を流す。というふうにやってるでしょ。

だから、他の川は、あんなに臭い川はないんです。あそこだけが臭いから、やはり臭い原因を絶たなければ、いつまでたったってきれいにならないと、私は思ってます。

だから、それをみんなで話し合っって、どういう方向に持っていったら、少しでもきれいになるかなってというような、皆さんで話し合いしていい方向に持っていかない限り、あそこ臭くて、観光客は必ず、臭くてこんなところ2度と来たくないっておっしゃるそうです。

○委員

市では、浄化槽の助成金ってどの位出るんですか。

○事務局

諸条件はありますが、国県の補助を受けて、半分以上は出ると思います。

○委員

東京からこっちへ来て、市民の自由に使える、運動する施設がないんです。

武道大学っていう立派な施設があっって、しかも、健康都市のイメージで、勝浦市を作っっていったらいいのになっって、常日頃思ってるんです。

すばらしい施設があっって、で、若い学生さんたちが、1割でしたっけ、勝浦市の人口の、そうしますと、特に遊ぶものが無いっっていうか、いろいろ活発に遊ぶところなんか無いと思うんですけれど、私は、東京にいて、通年で行えるスポーツ教室っっていうのをやってるんです。

全額、その参加する人達が会費を払うんですけれども、例えば、こう、1年に1回、テニス教室とか、そういったもののイベントみたいなのあるんですけれど。

今、健康増進っっていうか、国をあげて、介護の人を少なくしたりとか、いろいろその健康に対しての取り組みが多い中で、なんかそういった運動できる機会が無いのがすごく残念なんです。

メタボ対策とか、いろいろ介護健康課とかの施策で、すごく親身にやっっていただいってるんですけれども、なかなか体操だとかなんとかっっていうのができにくかったりすると、ゲーム性のあるバドミントンとか、卓球とか、参加者を募っってやっっていただく

ような、年に2回とか3回とか、繰り返して、指導者はボランティアですとか、学生さんでもいいですし、経験者の方とかでもいいので、なんかそういったものやっていただけないかなって常に思ってて、勝浦市でいろいろ調べても、テニスのクラブとかはあるんですけど、一般市民の方にそういう教室とかたちでやっているようなんですけど、移住してきてもそういった施設が無いし、お借りしてそういうことってなんかできないんでしょうかって、常日頃思ってるんですけども。

もしそういうことで、なんかを知ってる方があったら、教えていただきたいなって思うんですけども。市のそういった対策っていうか、そういうことでできないかなって思ってるんですけども。

#### ○委員

私も、東京にいたときに、一応スポーツクラブに通ってて、今、戻ってきて運動する場が本当に無いんですよ。

勝浦整形には、スポーツジムはあるんですけど、室内のプールが無かったりとか、昔は、三日月の前に市民プールがあったりとかして、泳げて体を動かさせて、しかも、そういう運動場とか体育館とか、そういった施設があったらいいなっていうのが非常に思って、私も契約にあって、一番近くて、プールがあって、ジムもある施設というのが、茂原まで行かないとなんです。で、新茂原の方にこの前いってきまして、さすがに通うのは。

大多喜にはB&Gとか、御宿にもB&Gがありますけれど、プールが夏しかやらないとか、大多喜の施設も見学に行きましたが、会議室の小さい所にジム施設があって、会議室みたいなところでやる、みたいなところがあるので、若い方からお年寄りまで、いろいろな方が交流できて、体を動かせる。しかも国際武道大学には、そのスポーツインストラクターとかを目指す学生とかがいるので、そういう方々と一緒に交流したり、っていうような。

#### ○委員

タイアップしてやるってことができればいいのに。

#### ○委員

そういう施設が無いので、武大の施設も貸して欲しい。